

# 林木育種事業

## 1. はじめに

林木育種事業は林木の遺伝的特性を利用して、従来の林木の成長量増大および材質の改良に加え、社会問題化している花粉症対策に有効な林木品種の開発などにより林木の形質改良を進めることを目的としており、あわせて林業生産性の向上および森林の持つ公益的機能の発揮をはじめとした、社会・経済情勢の変化に伴い、時代の要請に応えた各調査を実施する。

## 2. 採種園の管理

スギ 精英樹	49クローン (ギルティッヒ配列)	1.80 ha
スギ 気象害抵抗性	46クローン (ギルティッヒ配列)	0.15 ha
ヒノキ 精英樹	22クローン (ギルティッヒ配列)	1.00 ha
少花粉スギ	19クローン	0.13 ha
無花粉スギ	1クローン	
マツ類 精英樹、その他		0.10 ha
スギ 精英樹 種子生産量	4系統	6.35 ha
ヒノキ精英樹 種子生産量	2系統	1.01 ha

## 3. 採種園の育成管理・整枝剪定

スギ 精英樹	1,928 本	1.1 ha
スギ 気象害抵抗性	688 本	0.4 ha

## 4. 人工交配による少花粉スギ種子生産 (試行2年目)

前年度人工交配による種子生産量	9系統	2,034 g
着花促進処理 (2回6月中旬～7月中旬)		108 本
人工交配による結実促進処理 (3月上旬～下旬)		88 本

## 5. 次代検定林調査

40年次調査	西奈スギ精英樹17号 (奈良市柳生町)
40年次調査	西奈ヒノキ精英樹18号 (吉野郡下北山村浦向)